

6日 交流ゴルフコンペ
前泊者交流会

7日 第1分科会
「境港分科会」

第2分科会
「米子分科会」

第3分科会
「大山分科会」

大懇親会

YEGビジネス交流プラザ

全国まちおこし物産展

8日 記念式典

記念講演

全国まちおこし物産展

エクスカージョン

「環日本海の玄関口に 鬼太郎あり」

～逆転の発想。鬼太郎の街に学ぶ～

日本海時代を展望した対岸貿易の海の玄関口として、国際的な水産・貿易都市として注目を集めている境港市。国際都市へ期待が集まる一方、ノスタルジックな街づくりで全国から多くの観光客を集めています。マイナスのイメージの強い「妖怪」を前面に出す逆転の発想により、寂れた商店街に活気が戻り、全国から新しい顧客を集めるようになりました。参加者には、実際に官民一体となった観光ルートを回っていただき、発想の転換から新しい価値を見出す商品づくりを学んでいただくと同時に、妖怪との出会いで心を癒し、楽しく交流していただきました。



「皆よく食べてくれたなあ」
カニの試食会にて

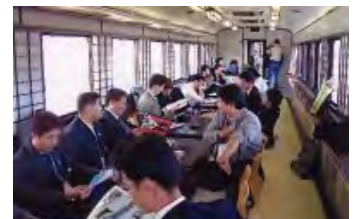
境港分科会

境港市 水木しげるロード他

12:00 ～ 17:00



3班に分かれて JR 米子駅「0番線」ホームから境港分科会会場へ



貸切り列車にはお座敷タイプも



(1)「鬼太郎列車」

全長わずか 17.9km、単線。自動車社会の昨今は存在感の薄い路線であった。しかし、車体に鬼太郎のペイントをした事で、話題の路線へ好転した。鬼太郎列車に乗車した瞬間から物語は始まります。



ねずみ男がお出迎え

3便のJRと、空港からのシャトルバスと、車で直接境港へ入るという3つのルートで受け入れました。JRの協力でお座敷列車を利用できたので人数の調整が楽でした。



(2)「水木しげるロード」

駅を降りると、妖怪達の町です。駅前商店街が妖怪の登場で転生、生まれ変わりました。800mの通りに83体の妖怪達がずらりと並び、少し寂れた風景も妖怪と不思議なハーモニーで活かされています。



歩道のあちらこちらで妖怪たちと目が合う

境港観光協会の全面的協力のほか、境港市、地元自治会の協力で賑やかにお客様を歓迎することができました。ロード、記念館からタワーまではシャトルバスを運行した。時間を自由に使えるシステムにしたので、ルートの説明に工夫をしました。



(3)「水木しげる記念館」

2003年3月にOPENの記念館。ゲゲの鬼太郎というブランドを生み出した水木しげる氏の哲学・創造力や、世界各地から集められた妖怪に関する珍しい品々には、参加者の発想が好転する鍵が隠されています。



妖怪について、かなり詳しくなったかも

入場者数を管理するため分科会パンフレットに三角券を作成した。しかし用意したルートとは別に、パンフレットを持たずに来られる方が多かったので、その場に対応し、入場していただきました。



(4)「夢みなとタワー」

海沿いにそびえ建つタワーでの自由行動。世界最大規模の立体映像システムで環日本海交流時代の勉強をするもよし、温泉から海を展望するもよし。



大盛況だったカニの食い放題。

カニの試食会を実施した。予想以上の人気でカニが不足した。自由行動の時間を有効に利用して頂くことができた。

やったあ！大成功！

天気が良く、楽しい雰囲気でもらえた。当日参加の人、翌日また見学される方などもおられ、たくさんの方に足を運んでもらえました。

こんなはずでは・・・

カニが予想以上に人気があった。予定より遅い時間に見学される方が多かった。